

大学入試学の構築を目指して

大学入試学会 理事長
倉元直樹（東北大学）

JARUAS
大学入試学会
The Japan Association for Research on University Admissions

講演概要

- はじめに
- 大学入試学会のあゆみ
- 第1回創立記念大会のテーマを巡って
- 大学入試学の構想
- 学会へのステップ①: 科研費研究
- 学会へのステップ②: 出版
- 直面する課題
- 大学入試学会のこれから
- おわりに

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

2

JARUAS

はじめに

- 多くの皆様のご協力の下、このようにして創立記念大会を迎えられたことを感謝いたします
- 会員として、あるいは、会員ではないにもかかわらず、休日にはるばるこの地に足をお運びいただいた皆様に感謝いたします
- 物心両面でサポートいただいた協賛団体の皆様、スタッフ、会場をお貸しいただいた東北大学大学院農学研究科に感謝いたします

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

3

JARUAS

大学入試学会のあゆみ (1)

- **大学入試学会の現状**（2024.9.19 現在）
 - 個人会員 173名
正会員: 126名、準会員28名、学生会員15名
 - 団体会員
大学等協議会13機関
高等学校等協議会21団体
 - 賛助団体 14社
- **第1回創立記念大会参加者数**（概数）
 - 公開シンポジウム 約 名
 - 大会 約 名、協議会企画 約 名

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

4

大学入試学会のあゆみ (2)

- **設立総会**（2023.12.17）まで
 - 設立準備委員会（すべてオンライン実施）
第1回（2023.6.22）～ 第10回（2023.12.12）
 - 発起人会（＝設立総会）の準備
 - **発起人依頼アンケート**の計画と実施
 - ウェブサイトの構築、学会口座の開設等
 - **設立趣意書**、会則、組織図、細則の決定
 - 会員管理システムの決定、委託会社との契約
 - 初年度予算、**今後の活動計画**の策定

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

5

大学入試学会のあゆみ (3)

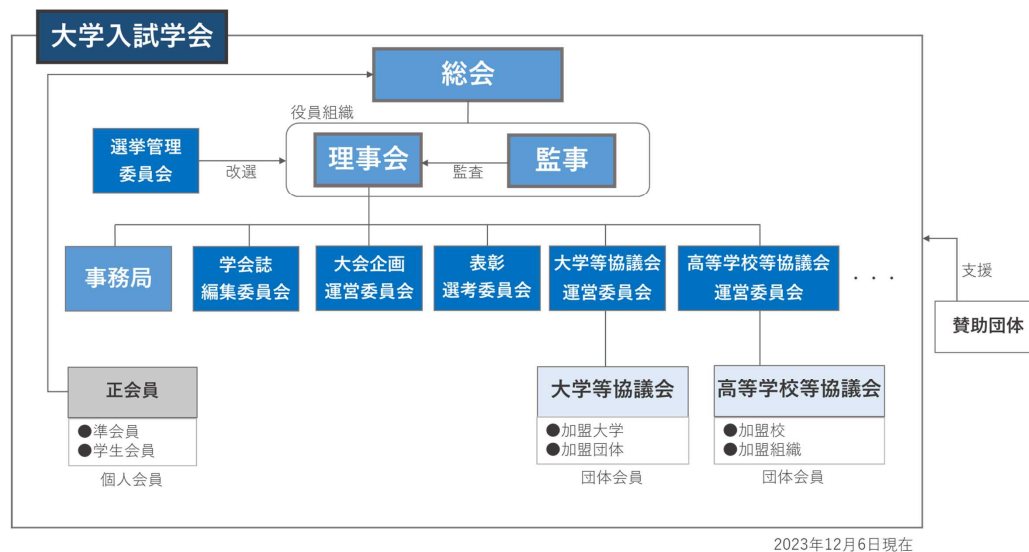
- **設立総会**（2023.12.17）
 - 発起人総数 180名、賛成98/100票で成立
 - 設立準備委員12名 → うち、10名が現理事
- **設立趣意書**概要
 1. 中心課題を**現実の制度**に置く
 2. 大学入試の**アカデミックな価値**の向上
 3. 大学入試を支える人材の**キャリア形成**
 4. **大学と高校の相互研鑽**、情報交換の場
 5. 将来的には**諸外国の制度との接続**

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

6

大学入試学会のあゆみ (4)



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

7

大学入試学会のあゆみ (5)

- **第1回創立記念大会**（2024.9.27-29）まで
 - 理事会（第1回を除きオンライン実施）
第1回（2023.12.17）～ 第11回（2024.9.19）
 - **第1回創立記念大会**の準備
実行委員会立ち上げ、プログラム編成、HP作成、参加者募集、協賛募集、予稿集作成、等々
- **大学入試学会誌**（第1巻）の編纂
- 理事会の拡充、各種細則の整備、決定
- **周知活動**、ウェブサイトの整備、ロゴ作製、等々

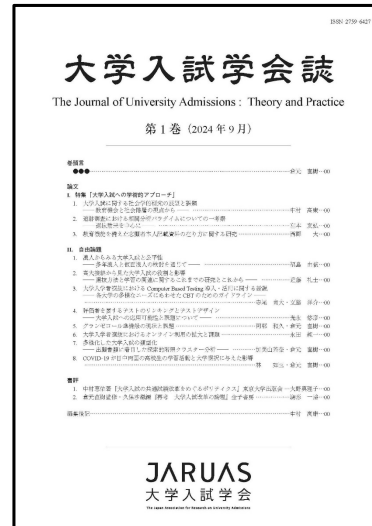
9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

8

大学入試学会のあゆみ (6)

- **大学入試学会誌** (第1巻)
 - 招待論文中心の構成
 - 特集3編
 - 自由論題8編
 - 原著(展望)3編
 - 原著(一般)1編
 - 研究ノート4編
 - 書評2編
- 第2巻からは**投稿論文**中心



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

9

大学入試学会のあゆみ (7)

理事長 倉元直樹 (東北大学)
 副理事長 中村高康 (東京大学)
 事務局長 宮本友弘 (東北大学)
 理事 小川佳万 (広島大学)・小泉利恵 (筑波大学)
 銀島文 (国立教育政策研究所)・駒形一路 (東北大学)
 立脇洋介 (九州大学)・田中光晴 (文部科学省)
 永田純一 (広島大学)・中村裕行 (愛媛大学)
 西郡大 (佐賀大学)・牧野周 (東北大学)
 安永卓生 (九州工業大学)・安成英樹 (お茶の水女子大学)
 脇田貴文 (関西大学)
 監事 河添健 (慶應義塾大学名誉教授)
 鈴木誠 (北海道大学名誉教授)

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

10

第1回創立記念大会のテーマを巡って (1)

- テーマ：**選抜か選択か・・・その一歩先へ**

高等学校及び大学の**教育改革**が進み、高等学校と大学の役割が**多様化**する中で、入学者選抜の基本理念は大きく転換しつつある。すなわち、学生の大学教育への円滑な移行の実現を目指すためには、これからの入学者選抜の在り方は、**大学と学生とのより良い相互選択**を図ることが重要になる。つまり、大学側から見ると、「**学生を絞り込む**」のではなく、「**求める学生を見いだす**」ことが求められ、学生の側から見ると、「**大学から選ばれる**」のではなく、「**大学を主体的に選択する**」ことが求められるのである。

中教審答申(1999) 初等中等教育と高等教育の接続の改善について

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

11

第1回創立記念大会のテーマを巡って (2)

- **受験地獄の解消**

← 戦後の大学入試選抜政策の一大ミッション

- 大学の**大衆化** → 競争選抜の終焉?
 - 大学入学者「**選抜**」から「**相互選択**」へ
 - **大学入試の多様化**の一層の加速
 - 約10年で問題の表面化: 推薦、AOの学力不足
- **学士課程答申** (2008)
 - 推薦、AOの入学者の学力把握措置
 - 高大接続テスト ← センター試験の補完

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

12

第1回創立記念大会のテーマを巡って (3)

- 底流に潜んでいた**学力低下問題**
 - 分数が出来ない大学生 (岡部・戸瀬・西村、1999)
 - まなびのすすめ (2002)、PISAショック (2003)
 - 全国学力・学習状況調査**の導入 (2007)
- 学士課程答申 (2008) の意義
 - 革新性**: 大学入試における根本的**政策転換**
受験地獄の解消 → **学力低下の防止策**へ
 - 問題点**: 高大接続テストの非現実性
高校の実情との乖離、テスト技術の半可通的理解

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

13

第1回創立記念大会のテーマを巡って (4)

- 高大接続答申** (2014) の衝撃
 - 学士課程答申を忘れたかのような**先祖返り**
 - 大学入試センター試験**に対する突然の攻撃
 - 過去に提案、実現しなかった構想のオンパレード
 - 過去に見たような**政治介入の構図**
← 全体として**オリジナリティの欠如**
 - 新たなステークホルダー**の登場 ← ここが斬新?
- 高大接続改革導入寸前の撤回 (2019-20年)
 - コロナ禍の発生もあり、強行されていたら大混乱

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

14

第1回創立記念大会のテーマを巡って (5)

- 学士課程・高大接続両答申共通の問題点
 - 現場 (高校、大学入試) の**状況への無理解**
 - 教育測定 (テスト) **技術に関する知識の欠如**
- 高大接続答申における問題点
 - 2000年代における**政策の流れの無視**
 - ゆとりイデオロギー** → 事実、エビデンスの無視
 - 強力な**政治介入**、政治主導
 - 特定企業 (ロビイスト) への**利益誘導** (?)
 - 現実離れした制度**の強引な実装、導入へ

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

15

第1回創立記念大会のテーマを巡って (6)

- 届かなかった (?) アカデミックなアプローチ
 - テスト・スタンダード** (2007)
わが国におけるテストの品質基準
大学入試についても言及
 - 国立大学個別学力検査
における**出題形式** (2016)
記述式の共通テスト導入論拠?
 - 日本テスト学会意見表明** (2018)
共通テストに対する懸念



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

16

第1回創立記念大会のテーマを巡って (7)

- 「選抜か選択か」という構図への疑問
← 「**学力低下論** vs **ゆとり教育**」の焼き直し
- 現代受験事情：セグメントごとに異なる様相
 - 都会、富裕層：**お受験**の早期化
問題はむしろ中学校、小学校、幼稚園入試？
 - 地方及び一般層：公立小中学校の課題
公立学校における**基礎学習の希薄化**
外部のリソースが乏しい → **学力低下**に直結
教育への不安 → 過疎化、少子化の原因にも？

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

17

第1回創立記念大会のテーマを巡って (8)

- 選抜か選択か**以来の政策の流れの整理
 - 大学の大衆化 → **選択の時代** (90年代末)
 - 学力低下問題** → 学士課程答申 (2008年)
 - 第2次安倍政権 → **高大接続答申** (2014年)
 - 新学習指導要領**告示 (2016年)
 - 高大接続改革の頓挫** (2019年)
 - 新学習指導要領の下での入試** (2025年)
- 失敗しても、すぐに**転換できない政策日程**
- 「学力低下論 vs ゆとり教育」の一步先へ

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

18

大学入試学の構想 (1)

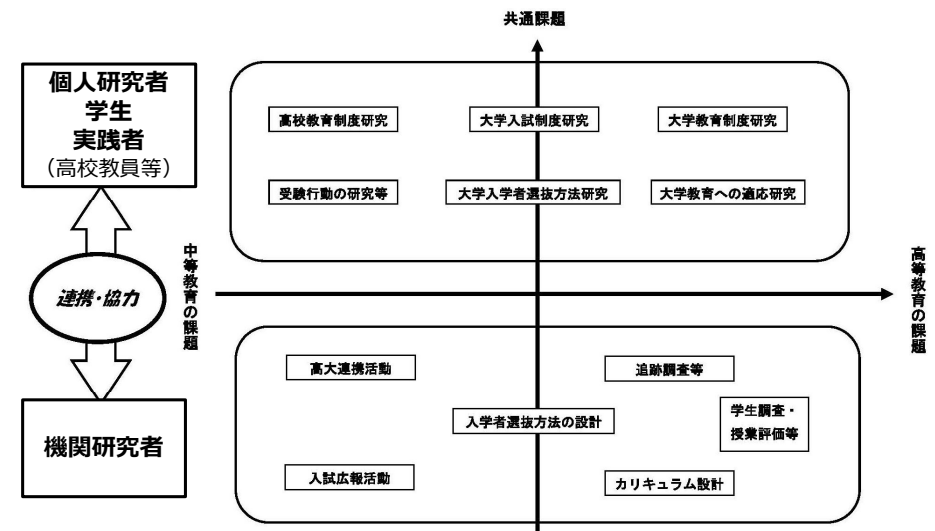
- 大学入試学の必要性に関する着想：2006年頃から
（「大学入試学」の誕生、第3章）

現在、少子化による18歳人口減少の中、**学生獲得戦略**ばかりがクローズアップされる傾向にある。（中略）**理想論を廃し**、所与の条件への現実的な認識を前提として、**長期的に大学や社会全体にどのような人材を供給していくべきか**という視点は欠かすことができない。



19

大学入試学の構想 (2)



個別課題 「大学入試学」の誕生、第4章）改変

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

20

学会へのステップ①: 科研費研究 (1)

- 基盤 (B) 課題番号22390405 (2010～14年度)
- タイトル: **医療の高度化に伴う看護系大学の高大接続問題—看護職志望者の適性と大学入試—**
 - 看護系大学の入試という特定のテーマ
 - 分野は基礎看護学
 - 研究組織は8名 (+ 連携研究者1名、研究協力者2名)
 - 研究終了時にウェブサイト作成、発信

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

21

学会へのステップ②: 科研費研究 (2)

- 基盤 (A) 課題番号16H02051 (2016～20年度)
- タイトル: **高大接続改革の下での新しい選抜方法に対する教育測定論・認知科学・比較教育学的评价**
 - 研究組織は23名 (終了時)
 - 研究開始時にウェブサイト作成
 - 正面から**高大接続改革に対峙**
 - 研究成果の**速報性**を重視



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

22

学会へのステップ①: 科研費研究 (3)

ごあいさつ

この度、平成28～令和2年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「高大接続改革の下での新しい選抜方法に対する教育測定論・認知科学・比較教育学的评价」のウェブサイトを開発いたしました。

本研究は、現在進行中の「高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革」に即応しながら、個別大学として取るべき具体的な対応策のヒントになる情報を作成し、提供することを目的とした研究プロジェクトです。個々の研究分担者が悩みながら、リアルタイムに現在進行中の研究プロセスを発信していくことに意義があると考え、発表と交流の場として本サイトを設けることとしました。

速報性を大切にする研究プロジェクトしたいと思っています。時々刻々と変化する議論に応じて、研究目標が当初の形から変化していくこともあるでしょう。本サイトを通じて、研究活動の現場を「生中継」していくことができれば幸いです。試行錯誤を通じて最終的に高校、大学の現場にプラスとなる研究成果を上げることが目標にしたいと思います。

皆様からの温かいアドバイスをお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。

研究代表者
東北大学高度教養教育・学生支援機構
教授 倉元直樹



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

23

学会へのステップ①: 科研費研究 (4)

- 挑戦的研究 (開拓) 課題番号19H05491 / H20K20421 (2019～22年度)
- タイトル: **「大学入試学」基盤形成への挑戦—真正な評価と実施可能性の両立に向けて—**
 - 研究組織は11名 (終了時)
 - **「大学入試学」**をタイトルに
 - スタイルは基盤 (A) を継承
 - 科研を基にシリーズの出版開始



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

24

学会へのステップ①: 科研費研究 (5)

ごあいさつ

この度、令和元～4年度日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的研究〔開拓〕「大学入試学」基盤形成への挑戦——真正な評価と実施可能性の両立に向けて——のウェブサイトを開設いたしました。

大学入学者選抜の抜本改革による大学と高校の過剰負担が懸念されています。入試改革では、評価の真正性が追求される一方で、時間的・人的コストについてはあまり重視されてきませんでした。本研究では、従来の努力志向を転換し、真正性と同時に効率性、信頼性、公平性を追求した実施可能性の高い入試方法の開発を目指します。

本研究は、大学入試制度は長年にわたって理念と現実の狭間で大きく揺れてきました。大学入試を学際的研究手法の融合により大学入試学（Admission Studies）という学術分野として成立させるため、基盤となる理論及び実践モデルの提示を目的とした挑戦的研究です。本研究では研究課題を「堅実型選抜方法」と「挑戦型選抜方法」に大別し、6班方式で研究を遂行することとしました。「堅実型選抜方法研究グループ」では、「書類審査開発班」「面接試験開発班」「記述論文問題開発班」が共通様式、面接員マニュアル、論文式問題とルーブリック等の開発を行うことを計画しています。「挑戦型選抜方法研究グループ」では、「4技能評価開発班」「C B T 開発班」「新評価方式開発班」が各方式の実施可能性を検証する予定です。

高大接続改革の進行状況に合わせて研究計画を柔軟に調整しつつ、初年度からウェブサイトを通じて研究成果を発信していきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

研究代表者
東北大学高度教育・学生支援機構
教授 倉元直樹



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

25

学会へのステップ①: 科研費研究 (6)

- 基盤 (A) 課題番号21H04409（2021～25年度）
- タイトル: コロナ禍の下での大学入試政策及び個別大学の入試設計のための総合的大学入試研究
- 研究組織は16名（2024年度）
- テーマは「コロナ禍」
← 想定以上に早く収束
- 近未来の大学入試制度に向けて
- 次の課題を模索中



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

26

学会へのステップ①: 科研費研究 (7)



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

27

学会へのステップ②: 出版 (1)

- 東北大学大学入試研究シリーズ
- 2024年9月現在、第9巻まで刊行
- 前身となる出版：高等教育ライブラリ
- 出版助成金を得て全部で8冊刊行
- 個人名は出せず、東北大学高度教育・学生支援機構編、東北大学出版会発行
- ライブラリシリーズ全体としてみると違和感
- 出版スケジュールが合わない
- 科研費研究を中心に独立したシリーズへ

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

28

学会へのステップ②: 出版 (2)

- 当初の構想: 大学入試に関する様々なテーマ
→ 基本的に**時流とは無関係**に積み上げる予定
- 大学入試の**激変期** → **状況対応**が中心
- 第1巻: 2020年3月 ~ 第9巻: 2024年9月
- 第1巻: **「大学入試学」の誕生** (2020年3月)
- 第1部 「大学入試学」構想の軌跡
- 第2部 大学入試研究の実情と課題
- 第3部 大学入試研究の可能性

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

29

学会へのステップ②: 出版 (3)

第2巻 **大学入試センター試験から大学入学共通テストへ** (2020.3)



第3巻 **変革期の大学入試** (2020.6)
宮本友弘編



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

30

学会へのステップ②: 出版 (4)

第4巻 **大学入試の公平性・公正性** (2021.5) 西郡大編



第5巻 **大学入試を設計する** (2021.5)
宮本友弘・久保沙織編



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

31

学会へのステップ②: 出版 (5)

第6巻 **コロナ禍に挑む大学入試 (1) 緊急対応編** (2022.5) 倉元・宮本編



第7巻 **コロナ禍に挑む大学入試 (2) 世界と日本編** (2023.1) 倉元・久保編



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

32

大学入試学の構想: 出版 (6)

第8巻 **再考 大学入試改革の論理**
(2023.5) 久保沙織編



第9巻 **アドミッションセンターの現在と将来** (2024.9) 倉元・林如玉編



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

33

直面する課題 (1)

マクロな構造的課題

1. **少子化**: 不可避だが、入試だけで解決は無理
← **社会構造全体**の問題として考えるべき
2. 日本の入試制度の**特殊性** ← 問題なのか？
諸外国にもそれぞれの事情 → 方向性はバラバラ
米国モデル、欧州モデルというのは後進性の現れ？
3. **格差**、**公平性**の問題: 観点と定義
4. 大学入試の**社会的役割**とは？
自己実現のための教育 vs. 社会を支える人材の輩出

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

34

直面する課題 (2)

ミクロな構造的課題

1. 選抜方法の問題: **多様化の終着点**？
測定・評価の**理論的基礎**に対する理解、技術の活用
「主体性」は本当に測れるのか？ **「探究」**は？
2. 個別大学における受験生獲得戦略
3. **受験生からみた公平性**の問題
「1点刻み、一発勝負批判」は誰のため？
社会心理学的公正観の有効性
4. ありとあらゆるローカルで具体的な課題

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

35

直面する課題 (3)

そもそも何が問題なのか？

1. 大学入試の**二重性**
 - 二重性: **当事者性**と**国民的関心事**
 - 当事者にとって決定的に重要だが、たくさんの部外者が自由に自分なりの主張を展開できる状況
2. 大学入試は**妥協の芸術**
 - 大学入試は**いくつもの正しいスジ** (理念、主張) が矛盾しながら交錯する場
 - 多数の理念を満たす**唯一の正解は存在しない**
 - 互いに譲歩し、**芸術的な落としどころ**を見つける技

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

36

直面する課題 (4)

- 大学入試の**専門家の必要性**
 - 各大学の入試制度設計**のため
 - 日本の大学入試制度の根幹は**大学の自治**
 - 一定の制約の下で**各大学の自由**が許される
← 多様化政策の成立条件
 - 個別大学の入試設計は**エキスパート・ジョブ**
 - 現実的な大学入試政策**策定支援のため
 - ポピュリズム vs **アカデミズム**
 - 学問的エビデンスを基にした**政策助言**の必要性

直面する課題 (4)

- 大学入試の**専門家**の成立要件
 - 大学入試の現状に関する**学問的な理解**
 - 様々な矛盾する理念とその成立要件に習熟
 - 適切な状況の把握と知識のアップデート
 - 一般社会から**専門家として認識されること**
 - 専門家を育成**するためには
 - 職業的知識人としての**安定したポジション**
 - 専門家を送り出すための**育成システム**
 - キャリアパスを形成するための**学会誌**の存在
 - 専門的知識を共有する集団、**学会**の存在

大学入試学会のこれから (1)

- 年次大会**: 学会の中心的活動
 - 第1回創立記念大会 (2024.9.27-29)
場所: 東北大学青葉山新キャンパス
 - 第2回大会: 来年9月中旬 (総会で発表予定)
場所: 東北大学青葉山新キャンパス (or 近辺)
 - 第3回大会: 再来年、時期未定 (8~9月頃)
場所: 東北大学青葉山新キャンパス (or 近辺)
 - 第4回大会: 3年後、時期・場所未定
 - できれば持ち回り、**対面実施**を続けたい

大学入試学会のこれから (2)

- 理事会**及び**細則**の整備: 学会の組織運営
 - 大学入試学会会則は総会の決議事項
 - その他の規程類 (細則) は理事会で審議の上決定、総会で承認
 - 会則で役員は理事が20名以内、監事が2名と規定、現在、理事16名、監事2名の体制
 - 会則の附則により**最初の役員選挙は2026年度**、それまでは理事会の判断で理事の追加が可能
 - 今後の活動に合わせてさらに拡充の可能性有

大学入試学会のこれから (3)

- **大学入試学会誌 (The Journal of University Admissions: Theory and Practice)**
 - 原則として毎年1冊は刊行予定
 - 第2巻以降も冊子体は継続の方針
 - 各種細則を整備して**編集委員会**を編成
 - 第2巻からは**査読付投稿論文**を中心に
 - 1～2年のうちに学会の財政基盤等の条件が整ったら、掲載論文をある時点から**オンラインで公開**
 - 基本方針と投稿案内は総会でお知らせ予定

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

41

大学入試学会のこれから (4)

- **表彰制度**: 学会の価値観の表明
 - 学会賞、論文賞、功労賞、大会発表賞の4種類
 - 第1回大会では、**第1回総会**の中で**大学入試学会賞「第1号」**の表彰式を行う予定
 - 大学入試学会論文賞「第1号」は**大学入試学会誌第1巻掲載論文**の中から選考予定
 - 第1回大会研究発表の中から、**大学入試学会大会発表賞**を2～3件選出 ← 参加者の投票
 - 次の表彰式は第2回総会（第2回大会内）予定

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

42

大学入試学会のこれから (5)

- **広報活動**
 - 広報委員会の下、ウェブサイトを中心に情報発信
 - ウェブサイト構築直後から、**会員ページ**を作成、2週間に1回程度更新中
 - 大会直前に**公式SNS**を立ち上げ
 - 日本教育心理学会2024年度第3回公開シンポジウムに協力
 - 今後も**活発な情報発信**を継続予定
 - 財政基盤が整備されたら**ウェブサイト更新**



9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

43

大学入試学会のこれから (6)

- **日本学術会議協力学術研究団体登録申請**
 - 1番の狙いは**学会の社会的認知**の向上
 - 学会誌の評価、若い研究者のキャリア形成
 - 要件を満たせば、**速やかに申請**予定
- **大学入試学の今後** ← **設立趣意書**に沿って
 - 「2. アカデミックな価値の向上」と「3. キャリア形成」についてはここまで触れてきた
 - 主に「1. **現実の制度**」、「4. **大学と高校の相互研鑽**」、「5. **諸外国の制度との接続**」について

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

44

大学入試学会のこれから (7)

1. 現実の制度について

- 日本で行われている大学入試の各論が重要
- 例えば、選抜方法の研究
 - 筆記試験の機能にかかわる研究
 - 多様な選抜方法の評価技術にかかわる研究
 - 追跡調査とそれにかかわる問題点の研究
 - 大学入試のDX化にかかわる研究
- 歴史、政策、個別大学の広報、等々
- 議論と成果の蓄積が重要

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

45

大学入試学会のこれから (8)

5. 諸外国の制度との接続について

- 喫緊の課題ではなく、将来の課題
- 大学入試研究の充実 → 海外への発信
 - それぞれ事情が異なる海外のローカルな問題に巻き込まれると、他のミッションを阻害
- 留学や留学生対象の入試にかかわる研究
- 諸外国の制度、実情との比較研究
- あくまでも日本の現実に立脚した研究が必要

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

46

大学入試学会のこれから (9)

5. 大学と高校の相互研鑽について

- 喫緊の重要課題、かつ、困難を抱えている
 - 学生層の圧倒的多数が高校新卒（浪人含む）
 - 大学入試の課題 ⇨ 高大接続の問題
- 大学入試学会組織のユニークな特徴
 - 大学等協議会、高等学校等協議会の存在
- 各協議会独自の活動への期待
- 両協議会の共同事業への期待
 - ← 個別大学、個別高校の範囲を超えた成果を

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

47

大学入試学会のこれから (10)

• 協議会活動：高大連携のプラットフォーム

- 2024.9.19時点で高等学校協議会加盟21団体、大学等協議会加盟13機関
 - ← 当初の想定規模よりもかなり小さい
- 構想段階では協議会の独立性を重視
- 現状では大会実施時に協議会担当理事を中心に協議会企画を実施するのが現実的
- 高等学校等協議会規程、大学等協議会規程の組織にかかわる条項の運用は当面凍結

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

48

大学入試学会のこれから (11)

- **協議会組織の苦戦**から見てきた課題
 - 大学側の課題
 1. 大学組織内における**入試の位置付け**の低さ
 2. アカデミックな**専門性の欠如**
 - 協議会への組織参加に二の足を踏む
 - 高校側の課題
 1. 教員個人の**校務分掌**は変わる → 継続性に課題
 2. **年会費の財源**にかかわる問題
 - ← 従来からの慣例が壁になっている？
- **協議会活動の活性化**が今後の成否を握る？

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

49

大学入試学会のこれから (12)

- 大学入試の「アカデミックな価値の向上」、「人材のキャリア形成」、「大学と高校の相互研鑽の場の形成」の3つの課題は**卵と鶏**？
- とにかく、まずは、研究活動を始めましょう！
 - 大学入試学会誌第1巻
 - ← 大学入試分野の**研究論文のサンプル**
 - 第1回創立記念大会一般研究発表
 - ← 大学入試分野の**研究発表のサンプル**

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

50

おわりに

- 学会運営は初めての経験
 - ← 至らぬ点をご指摘いただいて改善へ
- 今大会は遠くに続く道の最初の第1歩
 - ← 長い目で見て支えてください

今後ともどうぞよろしく
お願いいたします

9/28/2024

第1回大会基調講演
The Japan Association for Research on University Admissions

51